

名前：

インターネットの発展につれて、情報を集めるのは以前よりはやくて便利ですが、だんだん情報化社会になっていくといえます。皆はパソコンの電気をついて、インターネットをあげて、そしていろいろなデータや情報を目の前に現します。ニュースでも、ネットで見るのはできます。たしかに便利な時代です。しかし、それなのに、新聞や雑誌などの書類が今からいらないとはいえません。前述の新聞の例をあげましょう。ネットでのニュースと比べて、新聞はその便利さや速さを足りませんが、事件に対しての陳述と評論はやっぱり出ます。それはインターネットで、情報量が多すぎですが、情報量が多すぎなので、一方は便利さという利点があります。その一方は探すときとめるのはずががしくなっていて、だんだん内容を簡化します。ですから、ネットでのニュースはいつも短くて、わかりやすいです。もし人はその事件がもっと詳しく知りたのなら、最後に新聞をよ

づのを採ります。それに、新聞で、他の人の評論も出ます。これはネットで見えません。もしあれば、一回だけ済むのは多くて、新聞での長くてよい評論とは及びません。けれど、インターネットは全然否定するはいえません。インターネットでのニュースはわかりやすく、事件の概要は簡単に見えます。また、新聞の発售というのは、たまたまのかみを使って、つまりたまたまの木を切るといいます。それは環境の破壊で、新聞などの書類の欠点の一つです。また、新聞を保存するのもとてもむずかしくて、いつも欠くのは多くあります。それと比べて、ネットはその問題はありません。いかに、インターネットと書類の間に、バランスをとるか、私たちはもっと考えなければなりません。